



まつぼちゃん

まつぼっくい



町小HP

平成30年3月16日 発行

校長 蔦林洋司

卒業おめでとうございます

本校を巣立つ35名のみなさん、卒業おめでとうございます。

今年度、町畑小学校は開校120周年です。この記念の年にみなさんは最高学年として、いろいろな行事に取り組みました。どの行事にも「120周年記念」と名前が付いて、みんなで工夫を考えました。あなたたちはその中心となり、本番では最高のパフォーマンスを見せました。

運動会の応援合戦で見た「未来へつなぐ町小魂」、縦割りなかよし班のリーダーとして歩いた種差海岸までの遠足、児童会の「夢・飛行機飛ばし」。そして、学習発表会の「町畑の桜の木」は、見ている人に感動を与え、町畑の人々が子どもたちと学校を大切にしてきた歴史を演じてくれました。

わたしは、そんなみなさんと3年間一緒に過ごせたことを誇りに思います。卒業にあたって、柴田トヨさんという人の詩を紹介します。柴田さんは、家族と大変な不幸や苦勞を乗り越えて92歳になってから詩を書き始め、101歳で亡くなりました。その一生は「くじけないで」という題名の映画にもなって公開されました。

96歳の時に書いた「あなたに」という詩です。自分が精いっぱい努力したと言える日があること。そのことが大事だと語りかけています。

たとえ将来、辛いことがあっても、あきらめずに努力すれば、みなさんの夢はきっと自分の身近に引き寄せることができます。みなさんの大いなる活躍を期待しています。

96歳の時に書いた「あなたに」という詩です。自分が精いっぱい努力したと言える日があること。そのことが大事だと語りかけています。

たとえ将来、辛いことがあっても、あきらめずに努力すれば、みなさんの夢はきっと自分の身近に引き寄せることができます。

みなさんの大いなる活躍を期待しています。



学習発表会6年「町畑の桜の木」

あなたに
出来ないからって
いじけていてはダメ
私だって 九十六年間
出来なかった事は
山ほどある
父母への親孝行
子どもの教育
数々の習いごと
でも努力はしたのよ
精いっぱい
ねえ それが
大事じゃないかしら
さあ立ち上がって
何かをつかむのよ
悔い
残さないために

校長室で6年生とランチタイム

卒業まで残り少なくなってきた2月末、2週間にわたり恒例の卒業記念昼食会を行いました。6年生が小グループに分かれ校長室で一緒に給食を食べます。

学級で話し合っ、学校のために雪かきや清掃活動など奉仕活動がんばる6年生です。この日は、佐々木綾音さん、岡部太陽さん、久保樂玖さん、西塚華月さんの4人が来ました。小学校の思い出や中学校で楽しみなこと、がんばりたいこととお話ししながら楽しく食べました。「イラストレーターになりたい。消防士をめざします。アイスホッケーの日本代表。保育士です。」と将来の夢を笑顔で語ってくれました。



感謝の心を届けた6年生を送る会

「にゃんこスター」でなわとびをした女子3人を先頭にみんなに見送られる6年生



第1部は、5年生が中心となってなかよし班ごとに教室でゲームを楽しんだり、在校生のメッセージを添えたメダルをプレゼントしたりして感謝の気持ちを伝えました。

第2部は体育館で6年生からお礼の出し物があり、人気芸人の「にゃんこスター」のものまねでは、みんなが踊り出しました。「ブルゾンちえみ With-B」の動きも完璧で、体育館が大歓声に包まれました。

入賞おめでとう!

北奥羽学生俳句大会

秀作賞 2年 高村千朔

<作品紹介>

「こがらしは いつも口ぶえ吹いている」



開校120周年記念 町小エピソード 4

第1回町小バザーは昭和61年スタート!

昭和62年(1987)に発行された「開校90周年記念誌」に、昭和61年10月(日不明)に第1回町小バザーが開催され、10月26日にバザーの収益で図書をたくさん購入し、図書室の整備が行われたと記録されている。今からちょうど30年前だった。



昭和61年 第1回町小バザー

長い間本校の給食配膳員を務められ、当時PTAの監事もされていた西塚クニ子さん(6年華月さんのおばあさん)は、この頃をふり返って「開校100周年記念誌」に次のように書いている。

「PTAの各委員会毎に係を決め、地区の方々にも協力して頂き、埋藏品、食堂、野菜販売、作品展、生け花展示等、皆で汗まみれになりながら成功を願い、夢中で駆け回りました。終わった後の体育館で輪になっての反省会、大盛況だった喜びの笑顔、のどを潤してくれた冷たいジュースの味は、今も快く心に残っています。」第1回目のバザー開催に情熱を

傾け、みな協力し奔走する様子が伝わる。当時のPTA役員は、会長に岩淵惣二さん、副会長に石橋十四男さん、松井敬子さん、菅原満紀子さん、監事に接待英隆さん、大倉美智子さん、そして西塚さんだった。今でも学校が大変お世話になっている方々である。

翌年の昭和62年10月4日に第2回町小バザーが行われ、翌月11月8日に行われた開校90周年記念式典に華を添えた。この頃の町小バザーは(私が勤めていた平成5年~10年頃も)、参観日とセットではなくPTA行事として自由参加で行っていた。それでも日曜日、子どもたちを始め、先生方、地域の方々がたくさん参加して盛り上がった。(写真)

西塚さんによれば、父親委員会が結成されたのもこの年で、初めはPTAの専門委員会ではなくお父さんと男の先生方と懇親会を開き、何でも思ったことを話し合うことから始め、後に専門委員会になったのだそうである。

学校の児童数は、昭和58年の564名をピークに、昭和61年は510名が在籍していた。二つの桜ヶ丘団地の造成とともに発展してきた町畑小学校とPTAと地域の方々の熱い歴史が垣間見える。



昭和61年 第1回町小バザー